

茅ヶ崎市の海岸部砂浜で採取されたスナガニ類

Records of Ghost crabs (Genus *Ocypode*) Collected on the Sand beach,
Chigasaki, Kanagawa Prefecture

馬谷原武之¹⁾

Takeyuki MAYAHARA¹⁾

はじめに

茅ヶ崎市は相模湾に面し約6kmに渡り海岸線が広がっており、海岸部砂浜の比較的砂浜環境が安定している地点でスナガニ類が確認される。

茅ヶ崎市の海岸は主に相模川からの流出土砂が堆積して形成された砂浜海岸である。現在、相模川からの土砂の供給減少や台風等の高波による砂浜の消失が起きており、砂浜の維持、沿岸侵食対策のため、養浜等の海浜環境整備(神奈川県 2011)が行われている。

スナガニ類は日本では5種確認されており、主に温帯性のスナガニ *Ocypode stimpsoni*、熱帯・亜熱帯性のツノメガニ *O. ceratophthalmus*、ナンヨウスナガニ *O. sinensis*、ミナミスナガニ *O. cordimanus* の4種が確認されている(淀ほか 2006; 豊田・関 2014)。近年、本州沿岸域の太平洋側、日本海側にツノメガニ、ナンヨウスナガニ、ミナミスナガニといった熱帯・亜熱帯性のスナガニ類の分布が広がっていることが確認されている(高田・和田 2011; 和田年史・和田恵次 2015; 渡部ほか 2018; 若林 2019)。また、過去に相模湾ではスナガニ、ツノメガニ、ミナミスナガニが確認されている(渡部 1976)。茅ヶ崎市の海岸部砂浜で、近年採取されたスナガニ類について報告する。

方法

2013年、2015年に茅ヶ崎市の海岸部調査時に複数の地点(図1)で採取された5個体のスナガニ

類(標本番号: CCM-Cru0003, Cru0010, Cru0012, Cru0013, Cru0014)(図8-10, 図13-14)について、採取時の写真確認、ノギス(器差: $\pm 0.1\text{mm}$)による甲長、甲幅の計測、実体顕微鏡による種の識別部位の確認を行った。種の同定には複数の文献(渡部 1976; Sakai & Türkay 2013; 豊田・関 2014等)を参考にした。標本は液浸標本(70%エタノール)として茅ヶ崎市文化資料館に保存されている。

採取地点・採取年月日・個体数

- A: 神奈川県茅ヶ崎市柳島 海岸部人工岩場東側砂浜($35^{\circ} 18' 56.90''\text{N}$, $139^{\circ} 22' 58.53''\text{E}$ WGS84測地系)(図2-3)・2015.10.24・3個体
B: 神奈川県茅ヶ崎市南湖6 西浜海岸 茅ヶ崎漁港西側砂浜($35^{\circ} 18' 56.82''\text{N}$, $139^{\circ} 23' 47.74''\text{E}$ WGS84測地系)(図4-5)・2015.10.21・1個体
C: 神奈川県茅ヶ崎市汐見台 海岸部砂浜($35^{\circ} 19' 10.61''\text{N}$, $139^{\circ} 25' 57.71''\text{E}$ WGS84測地系)(図7)・2013.11.22・1個体

結果・考察

2013年、2015年に採取された5個体のスナガニ類を確認した結果、ツノメガニ(図8-10)とナンヨウスナガニ(図13-14)の2種が確認された(表1)。

ツノメガニ *Ocypode ceratophthalmus*

地点A:2個体, 地点B:1個体, 計3個体確認した。

甲幅17.3mm-9.7mm, 小型の未成熟個体である。

ツノメガニの大型個体は眼部先端に角状突起が出るが、今回採取されている様な中小型の個体は



図1 茅ヶ崎市海岸部 採取地点(国土地理院地図, 一部改変)

表 1 スナガニ類の確認結果

地点	標本番号	種名	学名	甲長(mm)	甲幅(mm)	甲長甲幅比	ハサミ脚の左右性	雌雄	採取地	採取年月日
A	CCM-Cru0012	ツノメガニ	<i>Ocypode ceratophthalmus</i>	14.4	17.3	1.20	左	♂	神奈川県茅ヶ崎市柳島 海岸部人工岩場東側砂浜 (35° 18' 56.90"N, 139° 22' 58.53"E WGS84測地系)	2015.10.24
	CCM-Cru0013	ツノメガニ	<i>Ocypode ceratophthalmus</i>	8.1	9.7	1.20	左	♂		
	CCM-Cru0014	ナンヨウスナガニ	<i>Ocypode sinensis</i>	7.3	8.8	1.21	左	♀?		
B	CCM-Cru0010	ツノメガニ	<i>Ocypode ceratophthalmus</i>	11.5	13.8	1.20	右	♂	神奈川県茅ヶ崎市南湖6 西浜海岸 茅ヶ崎漁港西 側砂浜(35° 18' 56.82"N, 139° 23' 47.74"E WGS84 測地系)	2015.10.21
C	CCM-Cru0003	ナンヨウスナガニ	<i>Ocypode sinensis</i>	12.3	14.6	1.19	右	♀	神奈川県茅ヶ崎市汐見台 海岸部砂浜(35° 19' 10.61"N, 139° 25' 57.71"E WGS84測地系)	2013.11.22

角状突起がみられない。スナガニとツノメガニは
鋏脚掌部に顆粒列がある。ツノメガニは鋏脚掌部
顆粒列の下半分が幅広く密に並んでいる(図12)。
オスの尾節が縦に長い三角形。甲長甲幅比は[1:1.
2]。第1歩脚掌節内面には2本の長毛の列が顕著に
確認されたことからツノメガニと判断した。

ナンヨウスナガニ *Ocypode sinensis*

地点A:1個体, 地点C:1個体, 計2個体確認した。

甲幅14.6mm, 8.8mm, 小型の未成熟個体である。
ナンヨウスナガニとミナミスナガニには鋏脚掌
部の顆粒列がない(図15)。ナンヨウスナガニとミ
ナミスナガニは両種ともミナミスナガニとされ
ていたが, 現在別種であるという見解(渡部ほか
2018)があり, ミナミスナガニにある眼窩下縁の
明確な切れ込みがない(図16)。大鉗脚上部が黄色
であることからナンヨウスナガニと判断した。

今回確認した5個体は熱帯・亜熱帯性のスナガ
ニ類であり, 10, 11月の時点で未成熟個体であつ
た。現在, 成熟サイズの検討から本土でも地域に
よっては繁殖の可能性がある(渡部ほか 2018)と
いわれているが, 今回確認した個体については,
南方の個体群から放出された幼生が供給され定
着し, 冬季に死滅しているもの(渡部 1976; 淀ほ
か 2006)と考えられる。今後, 当地の個体サイ
ズの分布や, 生息の可能性がある温帯性のスナガ
ニの有無, 過去の状況について検討する必要がある。

謝辞

現地調査において茅ヶ崎市文化資料館自然資
料整理グループにご協力頂いた。深く御礼申し上

げる。

引用文献

- 神奈川県(2011)相模湾沿岸海岸侵食対策計画。 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160298/>
- Sakai, K. & M. Türkay(2013)Revision of the genus *Ocypode* with the description of a new genus, *Hoplocypode* (Crustacea: Decapoda: Brachyura). *Memoirs of the Queensland Museum*, 56(2), 665-793.
- 高田宜武・和田恵次(2011)ツノメガニ(スナガニ科)の日
本海沿岸からの初記録。 *Cancer*, 20, 5-8.
- 豊田幸詞・関 慎太郎(2014)日本の淡水性エビ・カ
ニ 日本産淡水性・汽水性甲殻類。誠文堂新光社, 東
京, 255 pp.
- 和田年史・和田恵次(2015)ナンヨウスナガニ(スナガ
ニ科)の日本海沿岸からの初記録。 *Cancer*, 24, 15-19.
- 若林郁夫(2019)東北および北関東の太平洋岸におけるス
ナガニ類の生息記録。 *Cancer*, 28, 37-41.
- 渡部 孟(1976)相模湾産*Ocypode*属について。 *Researches o
n Crustacea*, 7, 170-177.
- 渡部哲也・淀 真理・木邑聡美・野元彰人・和田恵次(201
8)砂浜性スナガニ類の関東以南太平洋岸における分布。
Cancer, 27, 7-16.
- 淀 真理・渡部哲也・中西夕香・酒野光世・木邑聡美・野
元彰人・和田恵次(2006)南方系種を含むスナガニ属3
種の和歌山市における生息状況:2000-2003年。日本ベ
ントス学会誌, 61, 2-7.

1) 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課

茅ヶ崎市文化資料館

Chigasaki City Museum Of Heritage

E-mail:mayahara3@gmail.com (T. MAYAHARA)



図 2 地点 A 茅ヶ崎市柳島 海岸部
人工岩場東側砂浜 1 2015. 10. 24



図 3 地点 A 茅ヶ崎市柳島 海岸部
人工岩場東側砂浜 2 2015. 10. 24



図 4 地点 B 茅ヶ崎市南湖 6 西浜海岸
茅ヶ崎漁港西側砂浜 1 2015. 10. 21



図 5 地点 B 茅ヶ崎市南湖 6 西浜海岸
茅ヶ崎漁港西側砂浜 2 2015. 10. 21



図 6 地点 B スナガニ類巣穴
2015. 10. 21

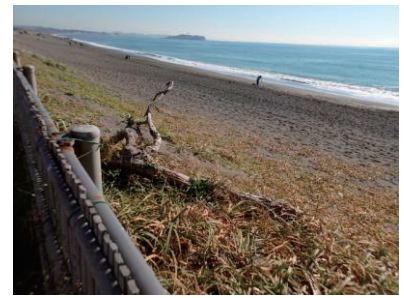


図 7 地点 C 茅ヶ崎市汐見台 海岸部
砂浜 2013. 11. 22

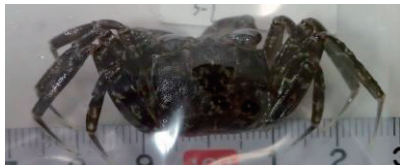


図 8 ツノメガニ (CCM-Cru0013)
地点 A 2015. 10. 24



図 9 ツノメガニ (CCM-Cru0014)
地点 A 2015. 10. 24



図 10 ツノメガニ (CCM-Cru0010)
地点 B 2015. 10. 21



図 11 ツノメガニ♂背面
(CCM-Cru0013)

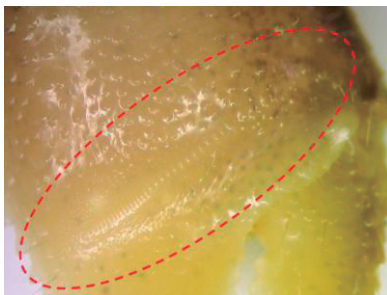


図 12 ツノメガニ缺脚掌部顆粒列
(CCM-Cru0013)



図 13 ナンヨウスナガニ (CCM-Cru0015) 地点 A 2015. 10. 24



図 14 ナンヨウスナガニ (CCM-Cru0003) 地点 C 2013. 11. 22

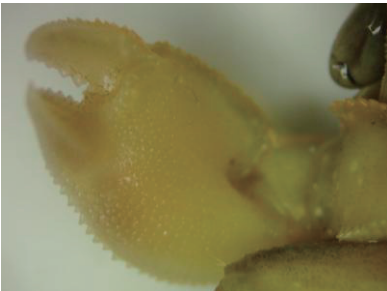


図 15 ナンヨウスナガニ缺脚掌部
(顆粒列がない) (CCM-Cru0003)

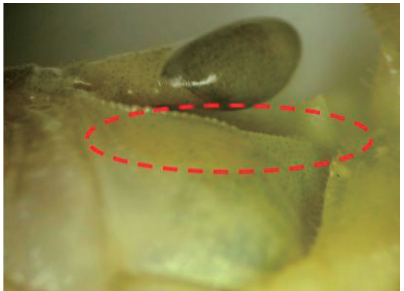


図 16 ナンヨウスナガニ眼窩下縁
(明確な切れ込みがみられない)
(CCM-Cru0003)